

良い特性を持つ材料の配合比率を 自動で迅速に予測してみよう

コマロフ セルゲイ 教授、○山本 卓也 助教
(022-795-7302/t-yamamoto@tohoku.ac.jp)

製品の特性を良くするために新規材料が日々開発されていますが、新規材料開発には原料の組み合わせや配合比率、混合する際の条件等の様々な条件を最適に設計する必要があり、かなりの時間を要します。そのような材料開発を迅速に行うために、数理最適化を利用した材料開発が近年開発されてきています。この研修では、ベイズ最適化という方法を利用し、得たい特性を持つ材料の配合比率を自動で迅速に予測したいと思います。

